2025年4月発行　134号　　発行元　認定看護師会

# CNニュース4月号

糖尿病看護

糖尿病分野では、日々新しい治療が登場しています。特に糖尿病看護で重要な2つのトピックスをご紹介します。

## 1. 週1回の新しい持効型（基礎インスリンを補う）インスリン注射器登場！

血中アルブミンと結合してゆっくり効果を示す

対象：自己注射が困難な高齢者糖尿病患者
週1回のインスリン注射で血糖改善を望む人

ダイアルは1目盛り**10単位刻み**　空打ちは10単位（1目盛り分）

700単位／ml
従来の持効型が7倍濃縮されているため、1回の単位数は多くても投与量（ml）は同じ
注入時の痛みは今までと変らない

操作感：今までのペン型注射器（フレックスタッチ）と同じ器具なので注射の操作感は変らない

**特徴：1回単位量が多く、効果が長い**　持効型なので禁食などの影響はない

例
1日10単位の持効型インスリン注射が必要だった人の場合

10単位×7日分＝アウィクリ週1回　70単位投与

10単位/日　100単位/週　70単位/週　70単位/週

1回目の投与量と2回目の投与量が異なることがあるので、2回目投与で増量を続けないこと！
間違えると影響が大きく、作用が7日間と長く続くため必ず医師の指示を確認してください！

**アウィクリを1回目のみ増量する理由**
他のインスリンからの切り替えの場合、1回目のみ血中濃度安定化のため前治療のインスリン投与量から算出された単位数を1.5倍に増量し投与することが推奨されているため。（リスク回避のため医師判断であえて増量しないこともある）

残量に注意！

例えば100単位打ちたい場合・・

それぞれ監査が必要

1本目
残量80単位

残量80単位
空打ち10単位し
70単位投与

＋

2本目
新品

残量300単位
空打ち10単位し
残り30単位追加投与

2本で合計100単位

不足分の計算には十分注意しましょう！

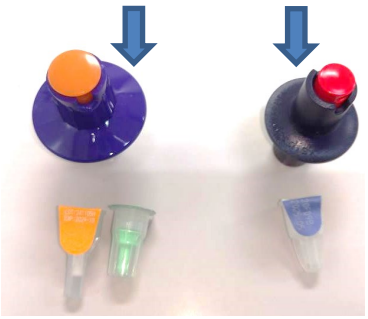
## 2. 在宅介護者のペン型インスリンの針刺しが増加中！

退院後の介護者（施設、訪問看護師等）についても針刺し予防が求められています。

糖尿病患者の注射療法に関する感染マネジメントバンドル2024年公開

Q どのような指導をすればいいですか？

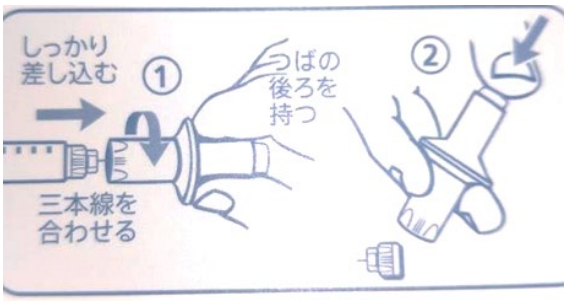
A インスリン針メーカー（ノボノルディスクファーマ社やイムベクタ合同会社）が提供している器具インスリン針用リムーバーを使用し針を着脱するよう説明します。



**マイクロファインプラス ナノパスニードル**
ボタンがオレンジのリムーバー

**ペンニードルプラス**
ボタンが赤のリムーバー

### 使用方法




### インスリン針用リムーバー使用のポイント

- 自己注射患者は針ケースを使用するため特別な器具は不要です
- 院内で看護師が注射する場合は、現行通りBDオートシールドデュオを使用します
- 在宅で注射針の取り外しを介護者がする可能性がある場合はリムーバーを指導します
- マイクロファインプラス、ナノパスニードルにはオレンジボタンのリムーバーが適合します
- ペンニードルプラス（ノボノルディスク社の針）には赤いボタンのリムーバーが適合します
- リムーバーはメーカー提供品なので必要時13西病棟かメーカーから入手してください
- 退院前カンファレンスなど訪問看護師と対面する時は、器具とパンフレットを渡してください

糖尿病看護資料についてのご案内

□ 糖尿病に関する新しい薬剤や機器の情報は電子カルテ上で確認できます。
Comedix　看護部→04認定看護師会→05糖尿病看護内フォルダにパンフレットや各説明書あり。（リムーバーの使用方法、アウィクリの使い方等も）
部署から問い合せなどあれば書類は随時を追加修正しています。（例　低血糖時のブドウ糖液投与の指示でブドウ糖液を静脈注射したケースでコストが落とせてなかった→低血糖指示に注射コストが反映されるわけではなく他の注射薬同様注射指示が必要なことを追記）

糖尿病看護でよく質問される内容をバリテスの動画講義＋PDF資料にしました

各25分程度の動画です

■「糖尿病看護　病棟看護師に知って欲しいカーボカウント」
■「院内採用の血糖測定器・CGM　Q＆A」

文責：糖尿病看護認定看護師　江尻